

サンゴ勉強会の開催について（案）

- 【テーマ】 サンゴ礁保全に向けた陸域からの負荷の軽減：
『具体的な赤土・生活排水対策についての取り組み』
- 【内容】 石垣市及び竹富町等の市町村行政赤土及び生活排水対策担当者や環境教育にかかわる学校教員等を対象に、サトウキビ等の畑地から赤土が流出する仕組みを、簡単な工作物による教材を用いて理解させながら、様々な赤土流出防止方法を紹介する。また、沖縄県が行っているサンゴ礁保全のための排水等の環境基準設置や市町村レベルでの赤土生活排水対策事例などの紹介を通じて、サンゴ礁保全のための赤土・排水対策についての具体的な取り組み方を学ぶ。
- 【講師】 中野義勝（琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底実験所 技術専門職員）
仲宗根一哉（沖縄県衛生環境研究所 環境科学班 班長）
- 【時期】 1月下旬（第2回フォローアップ会議と同時開催）
- 【場所】 白保公民館（収容人数 100 名程度、WWF ジャパンサンゴ礁保護研究センターの協力を得て開催）
- 【対象】 地元関係者（教育関係者、市町村赤土対策関係者、石垣島周辺海域環境保全協議会関係者、石西礁湖自然再生協議会関係者）＋フォローアップ会議参加者（合計 80 名程度）
- 【構成】 ①赤土流出現場視察（案内：上村真仁）
②赤土流出学習教材の作り方と使い方指導（仲宗根一哉）
③沖縄県における赤土流出／生活排水対策の試み（仲宗根一哉）
④市町村における赤土流出／生活排水対策の試み（中野義勝）
- 【協力】 環境省 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター
WWF ジャパンサンゴ礁保護研究センター
白保公民館